

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	骨折後、歩行困難になった入居者が病識が無くベッドより転落し頭部挫傷した為、緊急やむをえず臥床時はベッド柵で囲っている。	ベッド柵で囲うような身体拘束は行なわない。	1・敷き布団の下に、コールを敷き起き上がりが判るようにして、直ぐに対応する。 2・下りる位置に車椅子を乗れる様に設置しておく。 3・上下肢の筋力を強化する為、手摺りを使った歩行訓練を行なう。 4・臥床時は、起きるときは呼んで下さる様に毎回声掛けをする。	12ヶ月
2	14	面会簿を、玄関窓口に置き面会者に記入してもらっていた。	面会簿は事務所内に置き、職員が管理する。	直ちに改善した。	ヶ月
3	16	尿漏れのある入居者の大半が、紙パンツを使用している。	紙パンツから、できるだけ布パンツに変更し気持ちよく過して頂く。	1・日中だけ布パンツ+尿取りパットに変更する。 2・排泄パターンを把握し、こまめにトイレ誘導する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。